



医学・看護学教育通信

第1号
発行 2006.12.12

佐賀大学医学部 教育広報部会

ごあいさつ

このたび、医学部教育委員会では「教育広報部会」を設置し、学生、教員、事務系職員が共有しておくべき、医学・看護学教育に関する情報を発信していくことになりました。

これは、本学医学部において、現在行われている教育についての理解を深めるだけでなく、今後の教育改革として検討されている内容をいち早く発信していくことによって、広くご意見をいただき、より現実的ニーズに即した教育を実現していくことが目的です。

「医学・看護学教育通信」として、月1～2回の発行を目指して活動してまいります。ご支援のほど、よろしくお願いいたします。
(部会長 小田康友)

教育委員会だより

教育委員会は、毎月第一水曜の午後開催されます。12月度委員会は6日に開催されました。

特記事項としては、平成19年度の日程(案)が提出されたことが挙げられます。これはカリキュラム策定ワーキンググループ(委員長:岩坂剛教授)によって検討された案で、医学科Phase PBLとPhase 臨床実習の日程に変更を加えたものとなっています。

Phase では、unit2:循環・腎・泌尿器、unit5:運動・感覚器の週数を増やしつつ、全unitの終了時期を4年次12月末とし、共用試験前の準備期間を設けるための工夫がなされています。また、6年次前期の負担を軽くしたい人はPhase の選択実習を4年次2月～3月に選択することも可能な日程が検討されています。

Phase では、コア診療科に重みをおきつつも、全診療科をローテイトできる内容とされています。また、マッチング等の日程を考慮して、Phase 選択コースを含めた全日程の終了時期が6年次7月となるように調整されています。

このような教育改革案は、教授会での承認を経て、公表されることになります。

また、カリキュラム策定ワーキンググループでは、平成20年度入学生を目処に、Phase の開始時期の前倒し(3年次4月)など大幅な変更を含んだ、新カリキュラムへの移行が計画されています。

Advanced OSCE 終了

Phase 臨床実習の実技試験であるAdvanced OSCE (Objective Structured Clinical Examination)が11月29日、12月6日の二日にわたって実施されました(実施責任者:吉田和代先生)。本年度は模擬患者ステーション(医療面接+身体診察+診断推論)とシミュレーターステーション(呼吸器/循環器)の2課題でした。

本実技試験は卒業認定の要件ですから、不合格者には再試験が実施されます。試験結果の発表は2週間後、再試験の日程は3月上旬が予定されています。

なお、“Advanced OSCE”とは、Basic OSCEと呼ばれる共用試験 OSCE の対比語で、より高度の実技試験を表わすために用いられています(ただし、これは日本の医学教育界独自の造語で、世界的には通用しません)。現在、国家試験への実技試験導入を目指してトライアルが進められています。

Useful Links

教職員、学生が教育のねらいや方法を共有するためには、現在の日本の医学教育の基本線を理解しておくことが早道です。現在の日本の医学部教育のスタンダードは、「医学教育モデル・コア・カリキュラム」ですが、発表から5年を経ても、未だにこの内容は大学内の「常識」にはなっていない印象があります。

また、そこで用いられている基本的な教育用語の理解のためには、下記HPが参考になります。事務系職員のために作成された用語集で、簡潔でわかりやすく書かれています。本稿では、このような情報も紹介し、理解を共有する一助にしていきたいと思えます。

- ④ 医学教育モデル・コア・カリキュラム
http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/13/03/010331.htm
- ④ 医学教育豆知識 ビタミン e-mail
<http://www1.gifu-u.ac.jp/~medc/jimbsite/term.htm>

教育広報部会

- ✚ 小田康友、池田豊子、市場正良、吉田和代、江村正、田崎法人
- ✚ ご意見をお待ちしています (oday@cc.saga-u.ac.jp)